



しっかりと口調はいまも健在の悦雄さん

千葉県悦雄さんⅡ衣川区富田Ⅱは同区富田に生まれ、20代前半に故・サダさんと結婚。2男3女をもうけ、孫14人、ひ孫21人に恵まれました。農業と林業に従事する傍ら、衣川村議会議員を3期12年、統計調査員を51年務め、その功績により旭日単光章を受章しています。

市は、8月に満百歳を迎えた2人に記念品を贈り、長寿を祝いました。

祝
百歳おめでとう



家族に囲まれお祝いのケーキのろうそくを吹き消すツキさん

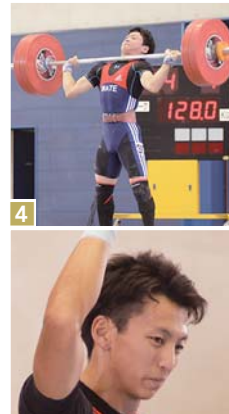
たような人」と父の偉大さに感謝していました。

石川ツキさんⅡ水沢区上姉体二丁目Ⅱは同区字大町に生まれ、24歳のころ故・音治さんと結婚。4男3女をもうけ、孫6人、ひ孫7人に恵まれました。大勢の子どもを抱えながら、家業の建具店を手伝ったり家政婦に出たりして家計を助けてきました。

園芸が趣味で菊作りをしていたというツキさん。おおかで人付き合いが好きな性格と、好き嫌いなく何でも食べることが長寿の秘訣だろうと長男の勝弘さん(75)は語っていました。

輝 東北総合体育大会 優勝

8月21日から23日を主会期に、第42回東北総合体育大会が県内で開催されました。そのうちカヌー、馬術、卓球、ウエイトリフティング、弓道競技が市内で行われ、2015 紀の国わかやま国体の出場を懸けた熱戦が繰り広げられました。それぞれの競技で見事優勝に輝いた本市ゆかりの選手を紹介します。



【馬術】1少年馬場馬術競技 千葉 選手(前沢中学校3年)とバステック号 2成年男子馬場馬術競技 齊藤圭介選手(水沢農業高校出身)とバステック号 3成年女子馬場馬術競技 黒須晴子選手(県馬術連盟所属)とロリノ号 ※少年馬場馬術競技は男女別なし

【ウエイトリフティング】4成年 62kg 級 千葉健介選手(早稲田大学・水沢高校出身) 5成年 56kg 級 文 幸太選手(日本体育大学・岩谷堂高校出身) 6少年 69kg 級 佐藤 光 選手(岩谷堂高校3年)

【弓道】7少年男子の部 高橋広樹選手(金ケ崎高校3年・胆沢区小山出身。写真左)がメンバーとして出場した岩手県チーム

ことしの紀の国わかやま国体、そして来年の希望郷いわて国体での活躍を期待し、市民一丸で応援していきましょう。

地域6次産業化ー

育てよう元気の芽

地元の農林畜産物などを活用し、農業と他産業が連携して進める地域6次産業化。新たな製品やサービスを生み出そうというこの取り組みの最新情報を皆さんにお知らせします。

■問い合わせ＝本庁元気戦略室(内線 471)



●食の黄金文化・奥州「お土産フェア」

食の黄金文化・奥州「お土産フェア」を8月11日から16日まで、江刺ふるさと市場イベントスペースで開催しました。これは、市産農畜産物を使った6次



市内のお土産が一同に会した

産業化産品などのお土産を広くPRしようと初めて開催したものです。実家へのお土産、お子さんに持たせるお土産など本市のお土産としてふさわしいものを募り、18事業者60種類以上のお土産が並びました。各区では定番でも隣の区に行くともあまり知られていないという商品もあり、来場者が目移りする場面もありました。

期間中には、テレビやラジオで会場の様子が生中継される一幕も。会場となった江刺ふるさと市場の佐藤幸輝店長は「普段の物産品コーナーとは違い、手ごろな値段で楽しめるお土産コーナーは一風変わって大好評だった」と話し、本市のお土産の知られざる魅力を知ってもらう機会となりました。

●うまい奥州を食べよう in 東京

広く本市を知ってもらい、良質な市産農林畜産物を使った料理を食べてもらおうと初めて企画したイベント「うまい奥州を食べよう in 東京」を8月の1カ月間開催しました。このイベントは、東京都中央区にある飲食店「全国うまいもの交流サロン『なみへい』」で、市産の夏野菜やいさわボークを使ったコース料理を創作し、首都圏に住む人々に奥州の食を楽しんでいただいたものです。

8月19日には特別企画として「奥州ファンの集い」を開催し、ふるさと会の会員など多くの市出身者が参加しました。参加者たちは、特別ゲストとして登場した落語家で奥州大使の桂枝太郎さんの独演会に大爆笑。地酒を堪能し、コース料理に舌鼓を打ちながら郷土奥州の素晴らしさをいつまでも語り合いました。



江口友之副市長を中心に記念撮影

姉妹都市

静岡県 掛川市

掛川だより

郷土の偉人学び「掛川愛」深める

市制10周年の節目に偉人検定開催

「金次郎と掛川の偉人検定」が8月23日、大日本報徳社で開催され、2級(中級)に12人、3級(初級)に22人が挑戦しました。先人の功績を学び、「ふるさと掛川」への愛着を深めてもらおうと市教育委員会が初めて企画しました。

掛川市は、二宮尊徳(金次郎)の弟子で報徳思想を広めた岡田佐平治や東京女子医科大学を設立した吉岡弥生、ブラジル移民の父と呼ばれた平野運平など多くの偉人を輩出しています。これらの人物が紹介された市教育委員会発行の書籍「なるほど なっとく 金次郎さん」と「この人に学びたい〜掛川の偉人ものがたり〜」の中から公募した四者択一と記述式の30問を出題。参加者は30分の制限時間と戦いながら合格を目指しました。



勉強の成果を発揮し検定問題と向き合う参加者